



# 監 査 報 告 書

令和2年5月22日

学校法人 国 士 館  
理 事 会 御 中

学校法人 国 士 館

監 事 月 福 康   
監 事 足 立 禮 

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人国士館寄附行為第7条第3項の規定に基づき、学校法人国士館の令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査した。

私たちは監査に当たり、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人である京橋監査法人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人国士館の業務に関する決定及び執行並びに理事の業務執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務若しくは財産又は理事の業務執行に関する不正の行為、または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認める。

以 上

令和2年5月27日

## 令和元年度 監査報告書 付記（要旨）

令和元年度 監査報告書 は計算書類添付の通りですが、監事監査計画に基づき、重点監査項目について以下の通り参考意見(要旨)を付しておきます。

令和元年度の重点監査項目は次のとおり。

### 【法人の業務】

- ①内部監査の実施状況
- ②年度計画の実施状況
- ③教育・研究に係る中長期事業計画の実施状況
- ④学習支援の実施状況
- ⑤学生に対する留学指導の実施状況

### 【法人の財産の状況】

- ①予算執行手続きの状況
- ②成績優秀奨学金制度の実施状況

## 参考意見（要旨）

### 【法人の業務】

#### ①内部監査の実施状況

- ・監査室における監査は計画通り実施された。科研費監査においても問題はなかった。
- ・監査室の改善指摘を反映して文書取扱規程の改正が行われた。
- ・文書管理及び公印管理の重要性について注意喚起行うよう求める。

#### ②年度計画の実施状況

- ・令和元年度は第1次中長期事業計画の最終年であり、その点を踏まえた「事業報告」がまとめられた。
- ・計画は概ね実施できたが、必ずしも十分に実施できなかった点もあり、今回の結果を再検討して今後活かすことを求める。

#### ③教育・研究に係る中長期事業計画の実施状況

- ・令和元年度は「国土館教育総合改革検討委員会」において、「大学院改革」について、入試方法の改善、研究科間の密接な学術交流について検討するよう各研究科に求めている。ただ、結果報告の記録が残されていない。
- ・私たちは「国土館教育総合改革検討委員会」が、本学の教育・研究、運営に関する基本的な方向性を検討する場として極めて重要と考えている。

#### ④学習支援の実施状況

- ・今回は、国土館大学における学習支援の状況を、教務部を通して確認した。
- ・次のような支援があり、各学部で具体的な取り組みが行われている。

入学前教育      初年次教育      在学生への指導      留学指導

- ・入学前教育は早い時期に行われるAO入試と各推薦入試の合格者に対して行われている。これは平成12年の大学審答申に対応したものである。
- ・教育内容は学部ごとに定められており、業者委託によって実施されている。
- ・指導方法、評価方法は学部によって異なり独自色が強い印象はあるが、積極的に取り組まれている。
- ・初年次教育は体育学部を除き、“フレッシュマン・ゼミナール”としてカリキュラムの上で科目として設定されており、効果判定も行われている。
- ・体育学部はオリエンテーションの中での指導として実施している。
- ・在学生への指導は、中途退学者対策としての“ミスマッチ対応”について確認した。
- ・各学部ともミスマッチについては重視しており、ミスマッチを感じている学生に対しては、担任教員などにより面談が行われ、早期対応、転部・転科を薦める等の指導が行われている。ただ、転部・転科の実績は少ない。

#### ⑤学生に対する留学指導の実施状況

- ・留学指導は国際交流課により案内が行われているが、短期留学が多く、教育・研究を深めるための留学は少ない。
- ・学長室IR課が元年度学生を対象に留学希望についてアンケート調査を行っているが、全体として希望者は少なく、学年の進行に合わせてその傾向が強くなっている。
- ・海外協定校などを活用するなど、国際交流や留学についての方針を明確にし、学生の能力向上、キャリア形成促進を進めるよう検討が必要と考える。

### 【法人の財産の状況】

#### ①予算執行手続きの状況

- ・決算監査所見のとおり。ほぼ例年通りの決算となった。
- ・ここ数年大きな不動産取得が続いており、借入金も増加している。
- ・厳格な資金管理を行う必要がある。
- ・予算配分の優先順位やインセンティブを明確にした執行を進めるべきと考える。

#### ②成績優秀奨学金制度の実施状況

- ・この奨学金は原則4年間学費を全額免除するが、進級時に審査を行うと規定している。
- ・入試部では、成績優秀学生が他の学生を牽引することを期待すると位置付けているが、必ずしもその効果は出ていない。
- ・奨学生の選定、審査等について明確にすること、制度自体の定期的なチェックを行うことが必要と考える。
- ・奨学金は今後とも拡充すべきだが、奨学金に特化した資金は少なく、奨学金の対象とならない一般学生からの納付金を活用することから、制度の妥当性、公平性、透明性が求められる。

以上